

ルーキートーナメント大会規定 (赤字部分はルーキーリーグ大会との差異)

1. 船橋市、市川市、習志野市、八千代市、浦安市、鎌ヶ谷市、千葉市の一部に所属する単独チームで3年生以下を対象とする。**連合チームでの参加は認めない。**
2. バッテリー間 14m、塁間 21mとする。
3. 試合は5回、時間は75分。時間優先であるが、後攻が負けている場合は当該回裏の攻撃を続行すること。
時間優先であるが同点の場合、タイブレーク1回（1アウト満塁3番打者から攻撃開始。ただし、ベンチに下がった選手の復活は認めない）を行い、勝敗を決する。前記で決しない場合は監督同士の対決（3回じゃんけん等）により決すること。
決勝戦のみ時間制限なしで5回行う。
4. 1イニング10点で攻守交代する。（点差に関わらず項目3を優先する。尚、10点目がパスボールなどによる得点で、その時点の打者の打席が未確定の場合、次の回の先頭打者とする。）コールドゲームはなし。
5. 試合球は軟式公認J球(トップボール等)、各チーム2個提出。ニューボールでなくとも可。
6. ボークはとらないが、審判はボークを認識した時点でプレーを中断し、ボーク前からゲームを再開する。
7. 投手は、1試合50球/人までとする。（タイブレークにおける投球数も前述の投球数に含まれる。）
試合中、規程投球数に達した場合、その打者が打撃を完了するまで投球できる。
投手が50球を超えて投球した場合、この誤りを発見した時点で、次の投手がアウトカウント並びにストライク及びボールカウントを受け継いで試合を続ける。
ボークにかかわらず投球したものは、投球数に数える。
各回の準備投球（投球練習）はこの投球数には含まれない。
対戦チーム双方で1名の投球数をカウントする記録員を出し合い、各回の終わりに現在の投球数を審判及び両チームのベンチに知らせ、また残り10球となった時点でも審判及び両チームのベンチに知らせる。
8. 投球練習球数は、初回5球、次回以降3球とする。交代投手も5球。
9. **振り逃げあり。**主審は、「三振」「フォアボール」を打者に伝えてあげる。
10. 打者は必ずヘルメット着用のこと。捕手はヘルメットとプロテクタ着用、レガースは自由。

11. ユニホーム着用の義務は強制しないが、帽子と背番号は着用すること。
12. 必ずスポーツ保険に加入すること。危険なプレーは厳禁。
13. 審判は両チームより2名ずつ出し合い、主審は話し合いで決める。
14. 選手登録は不要。ただしメンバー表は試合前に交換、用紙は自由。
15. 選手および審判は試合開始予定時刻の1時間前に集合して試合開始に備えること。
16. 塁コーチは大人でも可（大人・選手ペアも可）。なるべくユニホーム着用のこと。大人のコーチの場合、威嚇的な言動はつつしむこと。
17. 勝利チームは、結果を当日中にルーキーリーグ大会連絡用BBSに入力すること。
18. 上記以外は公認野球規則を適用する。
19. ルーキーリーグ大会のリーグ戦各ブロック1位チーム（8チーム）は、1回戦シードとする。